

奇跡の海を守ろう

“カンムリウミスズメと上関（瀬戸内海）の生物多様性”
国際シンポジウム



日 時 2011年4月10日（日）10:00～17:00
場 所 広島市平和祈念公園内 国際会議場「ヒマワリ」
趣 旨

瀬戸内海で最後に残された生物多様性のホットスポット“かみのせき”（山口県上関町）。ここは国の天然記念物で国際的な保護鳥でもあるカンムリウミスズメが世界で唯一、1年を通じて生息する“奇跡の海”です。ところが上関では原子力発電所建設計画が進行しています。本シンポジウムではカンムリウミスズメと上関の生物多様性保護について海外からのパネラーもお招きし、国際的な視点から考えます。

プログラム（予定）

第一部 世界的な希少種 カンムリウミスズメについて（10:00～12:00）

「海鳥の目から海洋環境を見る」 綿貫 豊（北海道大学）

「瀬戸内海西部における非繁殖期のカンムリウミスズメの生態」 飯田知彦（鳥類・生態系研究者）

第二部 ウミスズメ類の調査と保全対策について（13:00～15:15）

「アメリカとメキシコにおけるセグロウミスズメの保護と研究(1991-2010)」

Harry R. Carter (Carter Biological Consulting)

Darrell L. Whitworth (California Institute of Environmental Studies)

第三部 上関（瀬戸内海）の生物多様性とその保護について（15:30～16:15）

「周防灘に残されている瀬戸内海の原風景」 加藤 真（京都大学）

「生物多様性保全の観点から～3学会の取り組み」 佐藤正典（鹿児島大学）

主 催 長島の自然を守る会 協 賛 LUSH

カンパ振込先 郵便振込 01340-8-44688 長島の自然を守る会

お問い合わせ先

高島 美登里（長島の自然を守る会・代表）

携帯☎090-8995-8799

Fax 0820(62)0710

E-mail midori.t@crocus.ocn.ne.jp

